高松市立大野小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自立と共生の心を持って行動する大野の子どもを育てる

【本校の現状と課題】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 男女ともに多くの学年で握力・長座体前屈の記録が低く、県平均を下回っている。
 - 5・6年男子、1年の総合評価((A+B) - (D+E))の数値がマイナス値である。
- ② 「運動に対する意識・運動習慣」について分析より
 - 児童の体育授業に対する肯定的評価の割合(「体育が好き」と答える児童)は約90%
 - 長い休み時間に運動遊び等を実施する児童の割合は約70%
 - 朝の始業前や業間、昼休み等で、元気よく運動場で遊ぶ姿が見れる。今年度から体育館や運動場利用の制限を可能な限り解除し、運動遊びを実施する児童の増加を図る。
 - 教職員の働き方改革を考慮しながら、新時代の体力づくりを計画していく。

【取組み】

委員会活動で外遊びを

スポーツ委員会を中心となって、運動習慣がつくよう、あそびんピックと関連付けて、外遊びの呼びかけを行う。全校生が運動を楽しめるようなイベントを企画し実践する。

各種トレーニングを放課後指導で

毎週火・金の放課後指導で6～7月に水泳(3～6年)、9～10月に陸上(5・6年生)、休み時間に11～12月は持久走(全学年)の練習を行い、体力向上と自己の記録更新を目指す。

体育の授業を通して

各学年に応じた運動種目の学習カード(さぬきっ子チャレンジカード、自作カード等)を用いて、基礎体力の向上や運動技能の強化を図る。(水泳・鉄棒・なわとび・持久走・マット・跳び箱)

環境を整える

竹馬、一輪車、ジャンピングボード等、休み時間を利用して進んで運動ができる環境を整備する。また、「運動場の使い方」のルールを守ることで、安全に使用できるようにする。

【目標】

- ① 新体力テストの数値における目標
 - ・令和7年度体力テストに向けて、昨年度大きく下回っている種目の値を県平均に近づける、またはそれより上回るようにする。
- ② 運動に対する意識・運動習慣における目標
 - ・「体育が好き」と答える児童の割合を増加させる。
 - ・長い休み時間や「あそびんピックの日」に運動遊び等を実施する児童の割合を増加させる。